

ゴザ目編みとしずく巻きの練習作品

・材料

* 立竹・・・幅4mm 厚さ0.5mm 1節ありの長さ22本（10×10+角用2本）

* 編み竹・・・幅2.5mm 厚さ0.35～0.4mm 1節ありの長さ多数本（作品の高さによる）
幅2.5mm 厚さ0.3mm 節なし だいたい6周分

* 縁竹・・・2本

* その他・・・しずく編み用竹1本 カ竹 籐



*高さ、幅など自由に制作

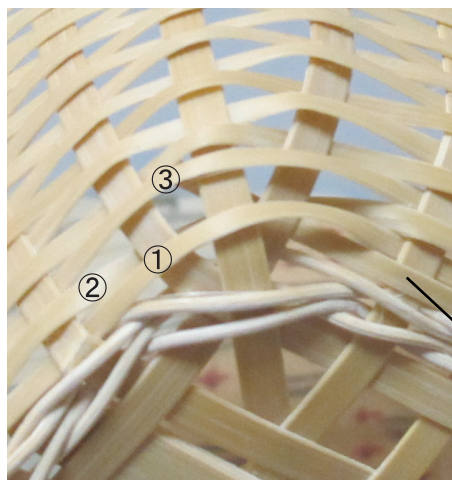


〔底組み〕

・作り方

- ① 四つ目で組み（作品は縦10本横10本の正方形）、籐で1周目は上からの二本縄編み、2周目は下からの二本縄編みをして矢羽模様をつくり固定する。角に加える竹は節なしの4本でもいいし、1節ある長さのもの2本を交差させてもいい。
- ② 仮のカ竹をいれ、ドライヤーで立ち上げのくせをつける。角の3本は少し強めに立ち上げのくせをつけておく。

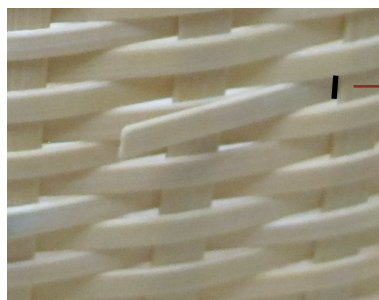
- ③ 節なしで0.3mmの厚さの編み竹で角からゴザ目編みをする。立竹が偶数なので、半周したところでゴザ目になるようにその下に編み竹を入れる。角は3周ぐらいまで3本一緒に編む。6、7周したら0.4mmの厚みの竹に変える。しっかりおさえるように編んで落ち着かせる。落ち着くまでグズグズになるので要所要所をクリップなどで細かく留めて作業する。



3周目まで3本一緒に編み
4周目で一本ずつにする。
加える竹を奇数にしておけ
ば、ゴザ目編みがくずれる
ことはない

半周したところで加えた編み竹

- ④ 編み竹は重ねつなぎし、先は1cmぐらいたしたままにしておく。編み終わり形を整え縁を仮止めしてからナイフで縦に切り込みをいれて折るときれいに始末できる。角でつがいないこと。節が角や立竹の下にきたら、手前で切って竹をかえる。



黒線のところをナイフで
軽く線引きしてから折る

- ⑤ 縁をつけ籐でしずく巻きをする。縁竹の幅や厚みは作品あわせて自由に制作。しずく編みの配置や回数、からめる下の竹の幅なども自分のセンスで。力竹も同様。



籐をとりはずしゴザ目で編み入れる

籐はそのままでもいいし、
とりはずし竹を差し込ん
でもいい。ゴザ目で四辺
を編み角で交差させる。